

イモの不用部を高速かつ正確に除去！

人手不足に悩む食品加工会社に画像処理、ロボット制御技術で応える

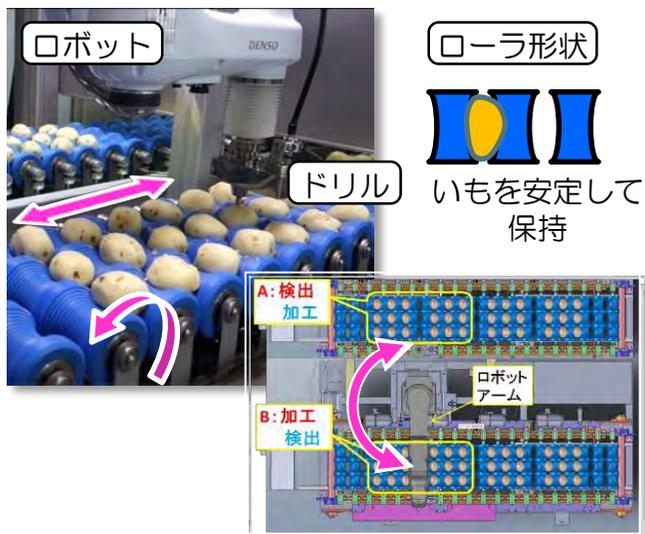
背景

- ・北海道はじゃがいもの収穫量で全国シェア80%を占めます
- ・一方、不用部（芽・傷み）除去現場は深刻な人手不足にあります

成果

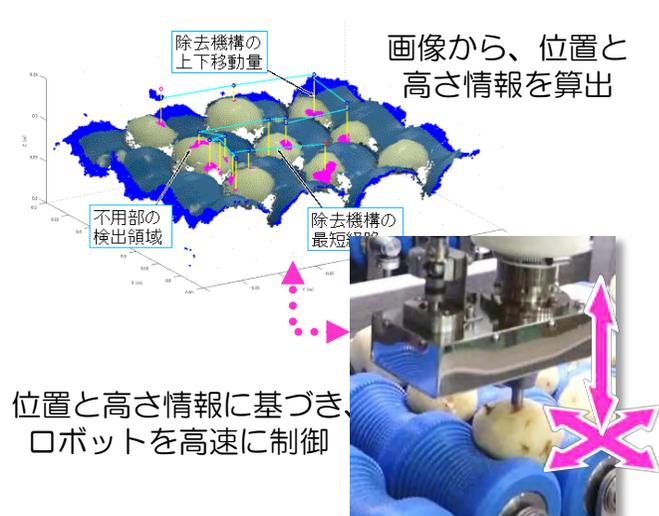
じゃがいもの自動芽取りシステムが完成しました

1 搬送と反転、安定保持を可能にするローラコンベアを開発



2列のコンベアでタイムロスなく処理

2 イメージセンサとロボットの連携で、曲面に応じた除去深さの制御



ドリルの位置と深さの制御

3 下記の性能が得られました

- ・不用部の約**80%**を自動的に除去
- ・処理速度 **2~3秒/個**
※当初目標4.0秒/個以下
- ・装置一台で**5人分の省人化**
- ・装置4,000万円/台、5人分の人件費を1,000万円/年とすると約**4年で回収**可能



深刻な人手不足...



期待される効果

- ・食品加工工場における加工工程の省人化と生産性の向上を図り、道内食料品製造業の市場競争力強化に貢献します。
- ・道内における機械製造業の食品加工分野への参入や、技術力の強化を後押しします。